

# 青森中央学院大学・青森中央短期大学図書館の ミッションステートメント

後 藤 敏 行 (現:日本女子大学家政学部家政経済学科 講師 前:青森中央短期大学食物栄養学科 講師)

## 1. はじめに

青森中央学院大学・青森中央短期大学図書館情報センター（以下「図書館情報センター」）では、図書館のミッションステートメントを策定し、自らの使命を明確化した（図1参照）。筆者は、図書館情報センター会議の委員として策定に中心にかかわった。本稿では、ミッションステートメントの文言を図1のとおり定めた意図や、今後の課題等を解説する。

なお、本稿を読んで不明な点は、図書館情報センターに問い合わせ頂いて結構である。

## 2. 図書館情報センター等の概要

青森中央学院大学（以下「学院大学」）、青森中央短期大学（以下「短期大学」）ともに学校法人青森田中学園が母体である。学院大学は経営法学部、大学院地域マネジメント研究科、および地域マネジメント研究所を設置している。短期大学は

食物栄養学科、幼児保育学科、看護学科、ならびに専攻科福祉専攻からなる。学生数は学院大学が530名（大学院生18人を含む）、短期大学が616名である（2008年5月1日時点）。

図書館情報センターは、両校の附属図書館として機能している。蔵書は上の学部・学科構成を反映したものになっている。専任の図書館員が3名配属されている。年間の開館日数は255日、入館者数は74,892人、蔵書数は71,121冊、貸出冊数は4,110冊となっている（2008年度）。

地域貢献を目的に、2000年4月から学外者に資料の閲覧・貸出サービスを提供している。2009年4月現在、116名が一般利用者として図書館利用証を保有している。年間約200冊の貸出がある。

図書館情報センターの運営全般について協議、決定するのが図書館情報センター会議である。学校法人全体にかかわる委員会と位置付けられ、学院大学、短期大学、母体を同じくする専門学校、そして法人事務局から委員が選出されている。

### 青森中央学院大学・青森中央短期大学図書館 ミッションステートメント

青森中央学院大学・青森中央短期大学図書館は、「愛あれ、知恵あれ、真実あれ」という建学の精神を具現化するために必須の施設として、学生の学びおよび教職員の教育・研究活動を支援すること、ならびに地域に奉仕することを使命とする。

上の使命を達成するため、次の事項に取り組む。

- ・教育活動に有益な蔵書を構築する。かつ、教職員と連携し、教育活動の展開を支援する。
- ・研究活動に有益な蔵書を構築する。かつ、研究活動の推進を支援する。
- ・学生の教養の涵養に有益な蔵書を構築する。
- ・蔵書へのアクセス性を高めるための手段や機会を利用者に提供する。
- ・蔵書へのアクセス、その他の図書館サービスを提供して地域に奉仕する。
- ・図書館のサービス内容を学内外に広報する。

図1 青森中央学院大学・青森中央短期大学図書館ミッションステートメント

(<http://www.aomoricgu.ac.jp/library/ms.pdf>、参照 2009-04-01)

### 3. ミッションステートメントの策定

図書館情報センターの前身は、短期大学附属の図書館であり、利用者の実感としては小さな「図書室」に近いものであった。それが、4年制大学である学院大学の開学、短期大学の看護学科設置等に伴い、規模を拡大してきた。図書館情報センターは学校法人と成長を共にしてきた施設であると言える。近年、施設の増築や地域住民への開放等、サービスをさらに拡充しつつある。

こうした状況の中、図書館情報センターの使命を改めて明確化して利用者に示すことが必要である、との意見が2007年度の図書館情報センター会議において出、ミッションステートメント策定が2008年度の課題になった。

ミッションステートメントの原案は筆者が作成した。日本の大学・短期大学で参考になる事例があまりなかったので、「mission statement」「community college」「junior college」「library」「information center」等の語句を組み合わせて、Googleで海外の例を検索し、参考にした。図書館情報センター会議での慎重な検討を経て、2008年7月に図1のとおり発表することになった。ウェブサイトで公開し、図書館情報センター入り口近くにも掲示した（写真1参照）。



写真1 青森中央学院大学・青森中央短期大学図書館ミッションステートメント掲示風景  
柱の上部の額がミッションステートメント

### 4. ミッションステートメントの文言

それぞれの文言について以下で解説する。

青森中央学院大学・青森中央短期大学図書館は、「愛あれ、知恵あれ、真実\*（\*まこと）あれ」という建学の精神を具現化するために必須の施設として、学生の学びおよび教職員の教育・研究活動を支援すること、ならびに地域に奉仕することを使命とする。

図書館情報センターは独自の道を進むのではなく、あくまで学校法人の一施設として機能している。そのため、学校法人の建学の精神にまず言及した。なお、図書館情報センターでは建学の精神に関連すると思われるテーマの資料を収集し、館内の一角に展示・館内利用に供している（注1）。

「学生の学び」というフレーズは、特に議論を重ねた。原案は「学生の教養の涵養」であったが、より幅広く・奥行きのあるニュアンスの文言を検討した結果「学生の学び」に行き着いた（議論の過程では「リベラルアーツ」「知性」等の語句も案に挙がった）。

学院大学、短期大学、ともに地域への貢献が今後の大きな役割のひとつとなることを見据え、「地域に奉仕すること」を使命のひとつとして主文に定めた。

・教育活動に有益な蔵書を構築する。かつ、教職員と連携し、教育活動の展開を支援する。

学院大学、短期大学、ともにゼミや演習の一環で図書館情報センターを利用することが多い。単に演習のための場所を貸すだけでなく、いっそう積極的に教育活動に貢献するために、「教職員と連携し、教育活動の展開を支援する」と明記した。例えば、後述のように、図書館活用法の講習会を授業の一環として行う、等が考えられる。また、教職員と連携して資料選定を行う、という意図も込めてある。その際、留学生担当職員や就職支援担当職員と連携することもあるので、「教員」ではなく「教職員」が適当であると判断した。

- ・研究活動に有益な蔵書を構築する。かつ、研究活動の推進を支援する。

単に蔵書を構築するだけでなく、ILLやレファレンスをはじめとする、様々なサービスを図書館情報センターは研究活動のために提供する。今後は、機関リポジトリの構築も考慮されるべきであろう。こうした意図を込めて「研究活動の推進を支援する」の文言を加えた。

- ・学生の教養の涵養に有益な蔵書を構築する。

ここでは、明晰さを考慮して、「学生の学び」でなくあえて原案のまま「学生の教養の涵養」にした。

- ・蔵書へのアクセス性を高めるための手段や機会を利用者に提供する。

この文言は、図書館の利用法や情報探索の基本を学生に教える講習会を開催することを想定している。また、掲示を分かりやすくする、OPACが利用しやすいシステムであるよう定期的に検討する、等の業務も念頭に置いている。

なお、図書館情報センターが単独で講習会を開催する余裕は、現状ではない(将来もそうだろう)。授業の一環での開催等、教職員との連携が必要である。したがって、この文言は前述の「教職員と連携し、教育活動の展開を支援する」とリンクしている。

- ・蔵書へのアクセス、その他の図書館サービスを提供して地域に奉仕する。

2.で述べたとおり、図書館情報センターは地域の学外利用者に貸出サービスをすでに実施している。この文言は、その際、単に資料の貸出を認めるだけでなく、資料にたどりつくために必要な図書館員の支援、館内掲示、蔵書検索システム等

を提供することを意図している。また、地域住民を対象にした各種講習会や資料展示会の可能性を視野に入れ、「その他の図書館サービスを提供して地域に奉仕する」の文言を加えた。

## 5. ミッションステートメントの効果と今後の課題

ミッションステートメントの策定と明示によって、図書館情報センターが今後実施すべきサービス(教職員と連携した教育支援、各種講習会の開催、地域貢献、等)が明確になった。また、日常業務を遂行する上でもモチベーションが高まったと図書館員が語っている。同じ規模の日本の大学で、このようなミッションステートメントを定めた例はあまりない。策定したことは、図書館情報センターの先進的・野心的な成果として、まずは評価できると考えている。

しかし、ミッションステートメントの策定の前後で、サービス内容が特段変化していないのも事実である。今後は、ミッションステートメントに沿い、サービスを着実に向上させていくことが課題である。

## 6. 付録

参考までに、ミッションステートメントと同時期に策定された「青森中央学院大学・青森中央短期大学図書館 資料収集方針」を紹介する(図2参照)。方針の中でミッションステートメントに言及し、ミッションステートメントを実際の業務にさっそく反映させようとしている。

(ごとう としゆき)

(注1) 青森中央学院大学・青森中央短期大学図書館情報センター. “「建学の精神」関連図書” <http://www.aomoricgu.ac.jp/library/kengaku.html>、(参照 2009-04-01)。

<p style="text-align: center;"><b>青森中央学院大学・青森中央短期大学図書館 資料収集方針</b></p> <p style="text-align: right;">平成20年6月24日 図書館情報センター</p> <p><b>(目的)</b> この方針は、青森中央学院大学・青森中央短期大学図書館（以下「図書館」という。）の図書館資料（以下「資料」という。）の収集について必要な事項を定める。</p> <p><b>(基本方針)</b> 1. 図書館のミッションステートメントに基づき、効果的に資料を集める。 2. 資料の収集にあたっては、学生および教職員等の意向を充分反映させるものとする。</p> <p><b>(収集基準)</b> 1. 学生用専門資料 (1) 収集資料 ・学生の学習・教育のために必要とする専門的な資料 (2) 選定方法 ・教員が選定する。 2. 教員用専門資料 (1) 収集資料 ・教員が教育・研究のために必要とする専門的な資料 (2) 選定方法 ・教員が選定する。 3. 一般教養資料 (1) 収集資料 ・学生が人文科学、社会科学および自然科学等の一般教養を得るために必要な資料 (2) 選定方法 ・教員および図書館職員が選定する。 4. 利用者からの購入希望資料 (1) 収集資料 ・図書館利用者が希望した資料で、上記1から3のいずれかの基準を満たす資料。 (2) 選定方法 ・図書館利用者が購入希望を申請する。 5. 参考資料 (1) 収集資料 ・学習、教育、研究活動およびレファレンス業務等に必要の辞典、図鑑、統計資料および二次資料等 (2) 選定方法 ・教員および図書館職員が選定する。</p>	<p>6. シラバス掲載資料 (1) 収集資料 ・シラバスに教科書や参考書として記載された資料 (2) 選定方法 ・図書館職員が選定する。なお、複数冊数を購入するのが望ましい。 7. キャリア教育資料 (1) 収集資料 ・学生のキャリアアップに必要とされる資料 (2) 選定方法 ・キャリア支援センター担当教職員が主に選定する。 8. 留学生用資料 (1) 収集資料 ・留学生が日本における大学生活で必要とする資料 (2) 選定方法 ・国際交流センター担当の教職員が主に選定する。 9. 本学教員著作物 (1) 収集資料 ・本学教員が著作者等になっている資料 (2) 選定方法 ・図書館ウェブサイト等を通じて広報を行い、本学教員著作物に関する情報を収集する。かつ、著作者等からの寄贈を願う。 10. 視聴覚資料 (1) 収集資料 ・学習・教育および研究活動のために必要な視聴覚資料（DVD、ビデオ、CD-ROM等） (2) 選定方法 ・教員および図書館職員が選定する。 11. その他 (1) 収集資料 ・本学ならではの特色ある資料 ・その他、図書館に必要な資料 (2) 選定方法 ・教員並びに図書館職員が選定する。</p> <p><b>(複本)</b> 資料は原則として重複を避ける。ただし、次に掲げる場合には、複本を備えることができる。 1. 授業に密接に関連するシラバス掲載資料等 2. 利用頻度が高い資料</p>
---	--

図2 青森中央学院大学・青森中央短期大図書館資料収集方針

Library Mission Statement of Aomori Chuo Gakuin University and Aomori Chuo Junior College  
(By Toshiyuki Goto, Japan Women's University)

This article explains the background of the Library Mission Statement of Aomori Chuo Gakuin University and Aomori Chuo Junior College and refers to the task ahead.

Developing the mission statement motivated librarians and made the services clear that the library should offer to its users: collaborating with faculty and staff to support education, holding training sessions for students, contributing to local community, etc. The remaining task is to fulfill these services.